

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぐるはうす黒川		
○保護者評価実施期間	2025年12月08日～2025年12月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2026年1月14日～2026年1月24日 ～		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階を踏まえた個別支援を重視し、安心して通所できる環境づくりを行っている点。	支援前後に職員間で打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の共有を行っている。	本人支援の質を維持・向上させるため、個別支援計画の内容や見直しを引き続き丁寧に行う。
2	個別支援計画に基づき、日々の支援内容を振り返りながら継続的な改善に取り組んでいる点。	個別活動と集団活動を子どもの状況に応じて組み合わせた支援を実施している。	保護者への情報発信を工夫し、支援内容や事業所の取組がより伝わるようにする。
3	多様な活動プログラムを取り入れ、子どもが意欲的に参加できるよう工夫している点。	支援記録を活用し、子どもの様子や支援の成果を職員間で共有している。	家族支援や地域との関わりについて、新たな方法も含めて検討を進める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や保護者同士の交流の機会が十分に確保できていない点。	家族支援や地域連携について、実施方法や周知の工夫が十分でないこと。	保護者が参加しやすい形での家族支援や情報提供の方法を検討する。
2	地域との交流や連携について、保護者に十分伝わっていない点。	情報発信の手段が限られており、取組内容が伝わりにくいこと。	地域資源との関わりについて、安全面に配慮しながら継続的に検討する。
3	非常時対応や事業所全体の取組について、職員の理解に差が生じている点。	勤務時間や担当の違いにより、職員間で把握できる情報に差があること。	非常時対応や委員会活動について、研修や資料を通じて職員への周知を強化する。